

平成 29 年度 教員の多忙化改善に向けた取り組みの推進について

甲府市立北東中学校

昨今の学校現場を取り巻く環境の複雑化・多様化、学校に求められる役割拡大の中、教員の多忙化改善が本県教育の重要な課題の一つとなっています。このような中、山梨県教育委員会及び甲府市教育委員会より、教員が子どもたち一人一人と向き合う時間を確保し、教員がその責務を果たすことにより、本県教育の質を一層高めていくため、各学校において、多忙化改善対策のための組織づくりや「改善計画」の作成を行うよう指導がありました。

については、本校でも次のような取り組みを行う中で、多忙化の改善を図り、生徒一人一人に向き合う時間を確保していきたいと考えています。保護者や地域の皆様にもご理解・ご協力をお願いいたします。

1 組織について

- 名称:多忙化改善校内委員会
- 構成メンバー:校長・教頭・教務主任・学年主任・生徒指導主事
(必要に応じて年代別代表者や一人職〔養護教諭・事務職員〕も加わる。)
- ※ 学期2回程度開催し、そこで話し合われたことについては、職員会議で報告する。

2 「改善計画」について

- ① 会議等の効率化
 - ・会議資料の事前配布による提案時間の削減等により、概ね1時間程度での終了を目指す。
 - ・統合・削減できる会議について検討し、放課後に生徒に対応できる時間を確保する。
- ② 学校行事の負担軽減
 - ・学校行事の終了後、速やかに校内委員会において次年度の実施について検討を行う。
 - ・実施された行事に関するデータを共有化し、次年度に活用しやすい体制をつくる。
- ③ 校内組織の見直し
 - ・校内委員会において、各係の整理・統合について検討する。
 - ・各係によって主担当・副担当を決め、その役割分担についても明示する。
- ④ 業務の効率化
 - ・各担当が共有ファイルを整理し、業務の見通しを持てるようにする。
- ⑤ 部活動の負担軽減
 - ・「きずなの日」等の部活動の休養日を設定する。
 - ・生徒数や教員数の減少を踏まえ、部活動の設置や休・廃部に関する基準について検討する。
 - ・各部の指導体制を見直し、外部指導者の導入についての検討を行う。
- ⑥ 地域人材の活用
 - ・学生ボランティアを授業時間内での支援が必要な生徒への対応に活用する。
 - ・PTAや地域の関係者と連携する中で、地域人材の情報を収集する。